

在籍職員10名 回答職員10名 回答率100%

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	1	1	8	今年度4月から、定員数を10名から20名に増やし、発達段階に合わせた支援を行うため、3クラス編成でスタートをした。職員体制としては基準以上の配置ができるように努めているが、子どもの発達目標に合わせた活動を計画、実施しており、クラス運営を経験の浅い2~3名の職員で行うため、一つ一つの業務に時間を要することが多く、職員間では人手不足感が強い。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	2	0	視覚支援は必要に応じて行っている。生活空間の導線には衝動性の高い子どもが扉を開けて出ていってしまうなどのリスクもあるため、必要時に施錠をするなど、子どもたちの安全確保につとめている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1	1	指導訓練室のほか、スヌーズレンルーム、森エリア、施設屋外(敷地内)など、活動に合わせて場所を使い分け、子どもたちがのびのび活動できるよう工夫している。 新型コロナウイルスの感染対策も含め、毎日の掃除や消毒の徹底を図っている。
対策進捗状況		<p>○ 業務内容について、マニュアル化することで作業の効率化を図るなど見直しを行っていきたい。</p> <p>○ 生活空間の構造化については引き続き行う。同時に様々な特性の子どもたちにとって環境的なリスクの有無やその対策などについて、定期的に安全確認を行っていく。</p>				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2	1	今年度は職員会議を利用して「効率よくPC使用するための方法」「休憩の取り方」等、職員が課題と感じたことについて皆で話し合い、対策を講じ、振り返るといったPDCAサイクルを回しながら取り組んだ。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2	0	毎年、9月に保護者評価を実施。その意見を職員間で共有。次年度の事業計画に反映している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2	0	毎年、9月に保護者評価を実施。その意見を職員間で共有。次年度の事業計画に反映している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	7	0	第三者による外部評価は、未実施である。第三者評価について職員の理解が不足している(説明不足だった)
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	年間4回の施設内勉強会を行った。
課題や改善すべき点を踏まえた改善内容や業務内容		<p>職員が課題と感じたことを職員間で話し合い、改善策を考え取り組んでいく方法を継続し、業務改善はもちろん、風通しの良い職場環境にもつなげていきたい。</p> <p>経験の浅い職員が多い体制であるため。児童発達支援に必要な基礎知識から事例検討会、階層別の研修なども計画的に実施できるよう計画している。</p> <p>事業所評価については、次年度も同様に取り組んでいく。</p>				

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	毎月クラスごとのCF日を設け、計画的に作成している。保護者面談の際に、保護者のニーズを把握し、計画に反映させるようにしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	0	「およその発達段階」「太田ステージ」を活用しながら、発達段階の確認をしている。クラス編成も半年毎の評価をもとに行い、保護者への説明を丁寧に行い安心して通っていただけるよう取り組んでいる。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	0	児童発達支援ガイドラインで掲げられている5領域を意識したアセスメントを行い、計画立案をしている。経験の浅い職員にとってアセスメントはまだまだ難しいものとなっているため、そこについては課題と感じている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	1	療育活動については、子どもの発達段階に沿って、活動計画(年案、月案、日案)を立てて進めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	1	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	1	基本的には子どもたちの登所前に打ち合わせを行っているが、朝の状況によって十分な時間が取れないこともある。時間の確保が課題である。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	1	振り返りの時間に十分な時間が取れないことが多く、日々のPDCAサイクルがうまく回せていないこともあり、課題であると感じている。現場のOJTができない状況下で職員育成も大きな課題である。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	実施している。支援計画の評価の際に参考にしている。記載漏れのないよう、月末に記録のチェックを行っている。
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0		
対策進捗状況	適切な支援の提供方法として、現状実施している「支援計画作成までの流れ」「活動」「記録」については継続していく。また発達に合わせた療育実践のため、発達段階を把握し、根拠を持って子どもに関わっていけるよう、研修への参加や日々のPDCAサイクルを回すこと等に取り組んでいきたい。					

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	2	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	2	0	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	2	1	医療機関とは、保護者を通じて連携を図って進めている。摂食に関することについては、施設見学・研修も行かせていただくことで、重心児の摂食について連携を活かした学びもできている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	0	就園、就学について、保護者の希望をうかがいながら先方の園や学校と連携を図っている。医療的ケアの必要なお子さんの就園については、受け入れ側の園の理解や体制整備等、時間がかかる上受け入れ可能な園もまだ少ない状況であるため、早め早めに園と相談していくなど、連携を深め、実績を積み上げていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3	1	小学校との間では市の「かけはしシート」を活用し、3学期に面談で情報共有を行っている。また、特別支援学校とは、1学期に保護者の学校見学に付き添い、3学期に学校の先生が来訪し様子を見ていただきながらの情報共有を行うなどし、移行支援を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	5	0	市内事業所同士の連携会議(主に事例検討会)を月に1回行っている。今年度は児発管の他、保育士や看護師も参加し、良い研修の機会となっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	7	コロナ禍の中でもあり、直接的で大掛かりな交流はできていないが、日常的な活動の中で敷地内こども園の子どもたちと顔を合わせたり挨拶したりする機会は作ってきた。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	5	自立支援協議会への参加はできていないが、関係機関より内容の伝達はされている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	1	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	2	1	今年度は職員1名がペアレントプログラム支援者養成研修へ参加した。保護者に対してプログラムの支援は行っていない。
対策進捗状況	相談支援事業所や園、学校、医療機関などとの連携はケースを通して行っている。今後も積極的に関係機関との連携を図っていききたい。地域とのつながりはまだまだ薄いと感じており、次年度のセンター化に向けては、他の児童発達支援センターとつながり求められる地域への役割について理解を深めていきたい。					

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	2	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	クラス担任と保護者の面談(キラキラタイム)を保護者の要望に応じて行っている。毎月希望される保護者もあり、クラスによっては希望者が多く時間の確保が難しくなっていることや、保護者によって実施回数の偏りが大きいこと等課題も出てきている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	0	保護者同士がつながり、コミュニケーションを深められる機会は行事等を通して作ってるが、コロナの感染状況によって中止や延期になることもあったため、十分であるとは言えない。今後、感染対策を踏まえた行事の持ち方が課題となる。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	クラスの活動の様子や行事予定などについて、かるみあ便りを隔月で作成し、発信している。またコロナ感染症の情報など急な連絡などはメール配信なども活用しタイムリーに行えるよう努めている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	0	施設内で決められた情報の取り扱いについては理解し注意して取り扱っている。今後さらに職員自らが個人情報への意識を高く持ち、リスク管理ができるよう、あらゆる機会を通して学ぶ必要があると感じている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4	2	新型コロナウイルスへの感染予防対策上、関係者以外の施設内への出入りや大規模な行事等を行えていない。しかし、今年度は週に1度ボランティアさんが来てくださることとなり、受け入れている。
対策進捗状況	担任と保護者との面談(キラキラタイム)については、どのご家庭にも年に1~2回程度は実施できるような固定制とそのほか希望があれば随時という希望制の両方を取り入れていきたい。また、面談においては保護者の思いを丁寧に聞き、そこから何に困っているのかどうしていきたいのかなど目の前の保護者を理解することができるよう、職員自身も基本的な姿勢を学んでいきたい。個人情報の取扱いについては、職員会議や勉強会などを通して理解を深め自らリスクに気付いて対応できる職員育成を行う					

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	1	0	今年度、緊急時対応、嘔吐時の対応や窒息時の対応などについて、複数回に渡り勉強会を行ってきた。保護者への周知まではしていなかった
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	毎月1回、避難訓練を行っている。また和合せいれの里全体、3号館全体での総合防災訓練などで、周辺の事業所との合同訓練も行い、より実践に近い形でスムーズに避難ができるよう備えている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	2	0	利用開始時と年度変わりに必ずアンケートで確認し、変更があれば指示書も再提出していただいている。看護師、管理栄養士にて指示書や対応についての確認をさせていただいている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	2	0	虐待防止のための研修や資料の読み合わせ、また困難ケースの事例検討会などを行い、子どもに合わせた適切な対応について、子ども理解から考えている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	4	1	重心のお子さんの姿勢保持の場合のベルトの着用、体位保持のためのクッションの使用などについては、保護者と確認し合っている。その他の身体拘束案件は今のところない。
対策進捗状況	<p>非常、緊急時の訓練は、今後も月/1回計画的に実施していきたい。緊急時の対応については、それぞれの手順と書式に則って実践的な勉強会を今後も行う。その際、マニュアルを読み合わせしながら行うなど、マニュアルを活用することも経験し内容への理解を深めていきたい。また、保護者へのマニュアルや訓練内容の周知まではできていなかったため、防災訓練と合わせて保護者会やお便りなどで情報発信していきたい。</p> <p>虐待防止については、1年を通して基礎知識から様々な場面で起こりうること、そのようなときの対処などについてしっかりと学べるよう計画的に研修を行っていく。</p>					

(まとめ)

今年度もコロナ禍の中、様々な制約に対応しながら運営してまいりました。計画していたことが延期になったり中止になったりし、保護者の方々にも残念な思いをさせてしまったと思います。新型コロナ感染症は5月から感染症法上の5類へ移行されることが決まりました。免疫の弱い状態のお子さんも利用されている当事業所としては、今後も感染対策はしっかりと行いつつ、行事を安全に実施していけるよう、様々な方法を検討し取り組んでいきたいと思っています。

療育活動については、根拠を抑えた活動計画や支援方法の選択ができるよう、子どもの発達状況のアセスメントができるよう、勉強会に取り組んでいきます。また活動について振り返りPDCAサイクルを回していくことができるよう、時間を確保します。利用児の中でも医療的ケアや重心のお子さんも増えていく中、緊急時対応、災害時の対応などより実践的な訓練を重ね、その内容について保護者への周知も丁寧に行っていきます。お子様を安心して預けていただける事業所となれるよう取り組んでいきます。